



キャスト・ミャンマー・ニュース MYANMAR NEWS

2015年11月30日号
[2015] 006

ミャンマー総選挙のその後



弁護士法人キャスト
弁護士 外山香織
キャストコンサルティング(ミャンマー)有限会社
コンサルタント シュエ・ウィ・イー

ミャンマー連邦選挙委員会の発表によれば、11月8日に行われた総選挙において、アウン・サン・スーチー氏が率いる野党・国民民主連盟(NLD)が今回の投票対象となった1150議席のうち、約77%に相当する887議席を獲得して大勝したことが確定しました。NLDの勝利が予想される中、平和的な政権移譲のため、テイン・セイン大統領、ミャンマー国軍司令官ミン・アウン・フライン氏、ミャンマー下院議長のトゥラ・シュエ・マン氏に対してスーチー氏から会談の申し入れがなされ、シュエ・マン下院議長とは既に何度か会談が行われています。そして、11月19日の会談の後には、国民の声を反映した議会運営等について相互に協力すること等についての合意が発表され、このままの流れでいけば、NLD主導の政権が誕生することになります。

一方で、今後NLDが政権与党となった場合、現在の政策がどのように変わるのかが気になるところでもあります。そこで、今回、NLDの関係者（総選挙支援委員会メンバー）に今後の政策等についてヒアリングを行いました。以下、その内容を簡単にご紹介します。

政策目的

- ・ 国民的協調を通じた持続可能な発展の達成
- ・ 東南アジアの新興工業国の成功に倣った、自由且つ公正な市場経済の実施に向けた努力
- ・ 農業分野の発展
- ・ 地方の開発・インフラ整備
- ・ 外国の技術等の導入を目的とした外国直接投資の誘致 等

上記のような目的達成のため、法の支配と透明性をキーワードに、財政・金融制度の改革、

中央から地方への権限委譲、教育・福祉等の充実、外国投資の誘致のための投資環境の整備、予算の適切な配分と徴税の強化等が検討されているとのことです。

NLDは持続可能な発展という観点から環境保護も重視していることから、環境へのインパクトが大きい発電所建設等電力関係のインフラ整備に何らかの影響があるのではないかと、今後、技術導入等を念頭に外国投資の誘致を進めていくのであれば、当然その点も大いに懸念される事項です。その点について意見を求めたところ、現在の水力発電では今後の電力需要は到底賄えないため、原子力発電又は石炭利用の火力発電のいずれかが選択肢となることから、現在の技術及び予算との関係上、環境への悪影響を抑える技術を利用した火力発電システムを導入することにより、環境保護とのバランスを取っていくことになるだろうとのことです。

現在ダウエー経済特区における火力発電所の建設事業に対して周辺住民の反対活動が行われているということですが、この点については、現政府の事業の進め方が不透明なため周辺住民の信頼を十分に得られていないことが反対活動の主たる原因であり、NLDが進める場合は周辺住民の理解を得られるよう手続の透明性にも配慮していただくだろうとの回答でした。

日系企業の持つ高い技術力、コンプライアンス意識の高さ等から、現政権与党のUSPDだけでなくNLDにおいても、日系企業への信頼度、期待度は高い一方で、国を早急に発展させなければならないという要請が高いことから投資する側にも早急な決断と対応を強く求めるという印象です。西洋諸国は総選挙の実施前から大使や事業家がNLDの幹部に面談を申し入れる等の動きもあったということであり、今後は西洋諸国との競争も厳しさを増すと思われます。

上記情報に関するご相談の他、キャストグループのサービスに対するご意見、ご質問、ご要望、ご提案、お気づきの点がございましたら、お気軽にご連絡をお願い申し上げます。

【本ニュースに関するお問い合わせ】

キャストコンサルティング（ミャンマー）有限会社
No.244/254, Room(102), 10 floor, Mingalar Condo, Seikkantha Street(Upper), Kyauktada Township, Yangon, Myanmar
TEL +95-1-392789～90 担当：シュエ、ノー
E-mail : info@cast-consulting.com.mm

※1 本資料におけるミャンマー法に関する情報は、法文の記載内容、ミャンマーにおける関係局への聴取結果によります。

※2 本資料に関する著作権は弊社グループ又は弊社グループに所属する作成者に属するものであり、本資料の無断引用、無断変更、転写又は複製は固くお断りいたします。

【キャストグループ】法務・労務・会計・税務のワンストップサービス <http://www.cast-group.biz/>
ヤンゴン 東京 大阪 北京 大連 上海 蘇州 広州 香港 ホーチミン